

証券コード：5957

第114期

KIZUNA通信

2019年1月1日 ▶ 2019年12月31日

NITTOSEIKO

日東精工株式会社



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第114期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費は消費税増税の影響で一時的に落ち込むものの、企業の設備投資は人手不足などを背景に堅調に推移しました。一方、世界経済は、米国経済の後退懸念や米中貿易摩擦による中国経済の減速などが表面化し軟調傾向となりました。更には、英国のEU離脱問題の混迷や米国とイランの対立激化などの地政学的なリスクが多く、先行き不透明な状況となっております。

このような経営環境のもと、当社グループは、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”（2019年～2022年）」のもと、グループの将来を見据えた設備投資を実施するとともに、新たな事業の柱として医療分野への参入を視野にメディカル新規事業準備室を設置するなど、事業領域の拡充に取り組んでまいりました。併せて、環境に配慮した新製品の開発や障がいを持たれた方々が能力を発揮できる環境をつくることを目的とした特例子会社の設立など、地球環境や社会を改善するための施策を積極的に展開してまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は348億5千7百万円（前期比3.2%増）、営業利益は25億9千6百万円（前期比12.1%減）、経常利益は28億5千3百万円（前期比10.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は19億3千7百万円（前期比4.6%減）となりました。当初計画値には届きませんでしたが、その反省を踏まえ、中期経営計画のスローガン「Taking new steps forward together（ともに新しい一歩を）」のもと、経営資源を最大限に活用し中期経営計画2年目の目標達成と社会的価値の創造による持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

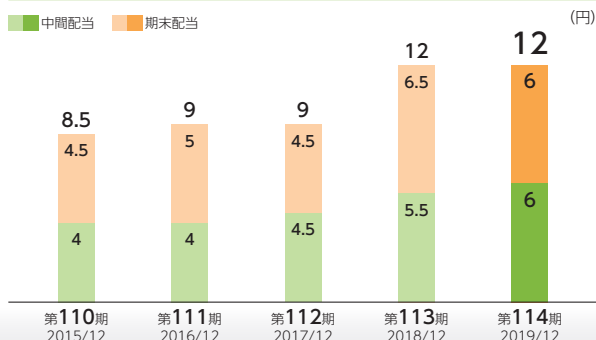
代表取締役社長 材木正己

株主のみなさまへの利益還元について

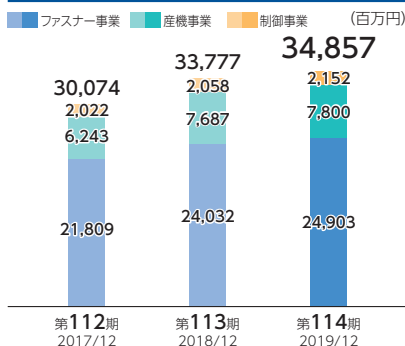
当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつと位置づけ、企業体質の強化および将来の事業展開に備えるための内部留保に努めつつ、業績に見合った安定的かつ適正な配当の継続を利益配分の基本としております。

第114期の配当金につきましては、中間配当6円、期末配当6円の年間12円とさせていただきます。また、次期の配当金につきましては、1株当たり年間12円を予定しております。

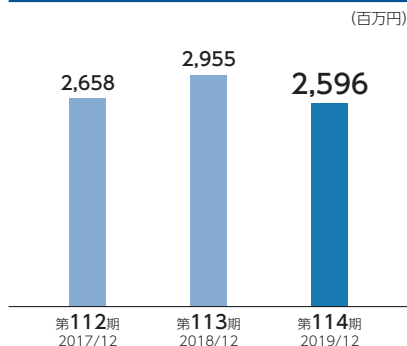
1株当たりの配当金の推移



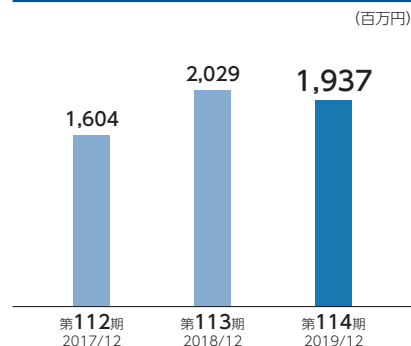
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



セグメント概況

ファスナー事業

主な製品 精密ねじ、セルフタッピンねじ、ゆるみ止めねじ、特殊冷間圧造部品、複合部品、異種金属接合部品、ねじ製造用工具

売上高構成比

71.4%



売上高

24,903百万円

前期比 3.6% UP

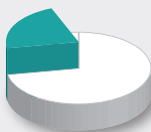
- ▶ 主力の精密ねじは、ゲーム機向けの需要が後半増加に転じたものの、カメラ業界の長期低迷とアジア圏における市場環境の悪化を背景に、収益環境は極めて厳しい状況。
- ▶ 一般ねじは、主な需要先である自動車関連業界において堅調に推移したが、米中間の通商問題を背景に中国を中心に低調。
- ▶ 各種展示会を利用して、異なる金属同士を強固に密着させる「AKROSE（アクローズ）」や樹脂用セルフタッピンねじ「カラーレスタイト」の販売促進に取り組んだ。
- ▶ 中国の華南地区における販売拠点の設立や市場の拡大が見込まれるリチウム電池市場を見据えた設備投資など、製造販売体制の強化を図った。

産機事業

主な製品 ACサーボねじ締めドライバ、ねじ締め機、ねじ締めロボット、ねじ供給機、リベットかしめ機、自動組立機

売上高構成比

22.4%



売上高

7,800百万円

前期比 1.5% UP

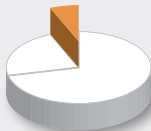
- ▶ 標準機は、中国の景気減速を背景にFA機器メーカーの設備需要が低調となるものの、国内や北米・韓国を中心とした自動車関連設備や国内における省人化対応設備の需要は堅調に推移。
- ▶ 自動組立ラインは、国内における自動車のモデルチェンジ時期の狭間により低調。
- ▶ 自動車の駆動系部品に多用されるボルトの締結に適した「NX500T3」の市場への投入や自動車関連業界を中心に評価が高い「NXドライバSD600Tシリーズ」にEU地域共通の安全基準「CEマーキング」を適合させるなど、高機能型ドライバの需要の拡大に努めた。

制御事業

主な製品 流量計、計装システム、検査選別装置、マイクロバブル洗浄装置、地盤調査機

売上高構成比

6.2%



売上高

2,152百万円

前期比 4.6% UP

- ▶ 流量計は、米中間の通商問題の影響を受け中国や韓国において造船業界を中心に需要が減少。
- ▶ システム製品は、人手不足を背景に部品検査装置の需要が自動車関連業界を中心に増加。
- ▶ 地盤調査機「ジオカルテ」は、東京オリンピック・パラリンピック関連の需要が増加。
- ▶ 超小物部品専用の検査選別装置「ミストル（MISTOL®）Fタイプ」の市場投入や質量流量計において国内の防爆エリアでの使用を可能にする認証を取得し、需要の拡大に努めた。
- ▶ 海外での事業の拡大を目指し、軟弱地盤の多いタイ国において地盤調査機「ジオカルテ」に関する産学研究を強化した。

お客さまとの共感から、持続可能な社会の実現へ。

さまざまな絆を大切にしてきた私たちの企業活動は「SDGs」との親和性が高く、社会が抱える重要課題の解決へ向けたアプローチへとつながっています。

「SDGs (持続可能な開発目標)」について

2015年9月の国連サミットで採択された、2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

「マテリアリティ」について

持続可能な社会の実現のために日東精工が果たすべきマテリアリティ(重要課題)を4つに設定しました。これらは社是「我らの信条」に基づきお客さま、地域、環境、従業員との「絆」を大切にすることの当社経営姿勢を反映させたものです。4つのマテリアリティに重点的に取り組むことで社会課題の解決につなげたいと考えます。

01 お客さまとの共有マテリアリティ

BtoBビジネスによってお客さまのそばで直にニーズを汲み取り、当社の技術やノウハウから解決方法を提案します。お客さまのマテリアリティを共有し解決することで、多岐にわたる分野においてSDGsに貢献します。

02 地方創生

創業から一貫して綾部市に本社を置く日東精工はコネクターループ企業としての役割を担っており、地域の産業振興に寄与してきた自負があります。今後もこれまで以上に取引先や自治体と連携し、地方の活性化に貢献します。

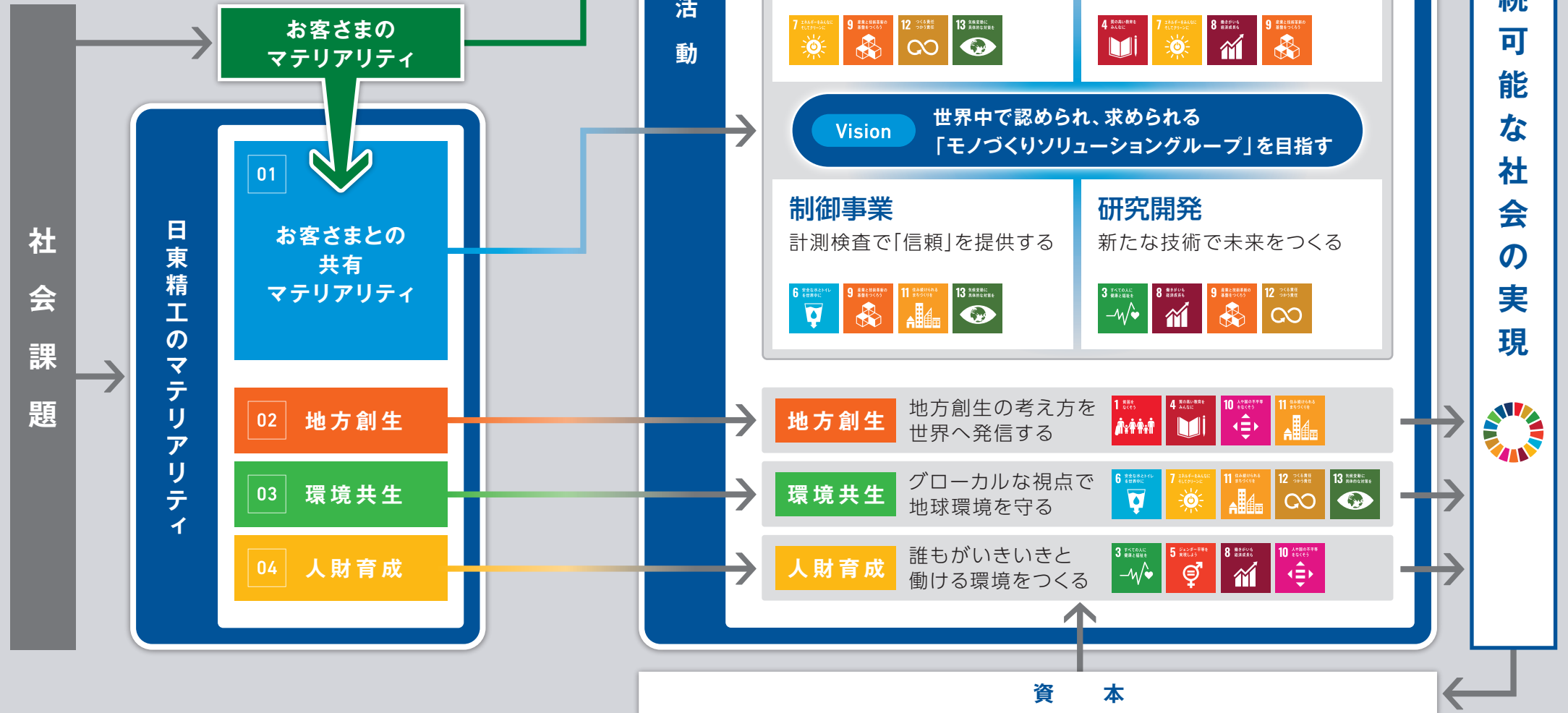
03 環境共生

当社は創業以来自然豊かな地域に拠点を置き、産業の発展とともに人と自然の共存共栄を学んできました。今後も地域環境や地球環境を維持し次代へつなぐため、環境保全を最優先事項の一つと位置づけ取り組みます。

04 人財育成

今後ますます課題となる国内事業の継続、労働者不足、働き方改革に対しては、人財育成の取り組みを充実させていくことが重要です。独自の人財育成システムに加え、ダイバーシティとインクルージョンを推進することで、誰もがいきいきと働ける環境をつくります。

日東精工の価値創造モデル



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 (2018年12月31日現在)	当連結会計年度末 (2019年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	27,177	28,726
固定資産	16,176	17,263
有形固定資産	11,805	12,799
無形固定資産	250	234
投資その他の資産	4,121	4,229
資産合計	43,353	45,989

POINT

1

現金及び預金や有形固定資産の増加などにより、資産合計は2,635百万円増加しました。

科目	前連結会計年度末 (2018年12月31日現在)	当連結会計年度末 (2019年12月31日現在)
負債の部		
流動負債	11,963	12,074
固定負債	3,716	4,313
負債合計	15,679	16,388
純資産の部		
株主資本	25,835	27,042
その他の包括利益累計額	△ 614	△ 413
非支配株主持分	2,453	2,971
純資産合計	27,674	29,600
負債純資産合計	43,353	45,989

POINT

2

親会社株主に帰属する当期純利益1,937百万円の計上、配当金の支払い469百万円などにより、純資産合計は1,926百万円増加しました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)	当連結会計年度 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
売上高	33,777	34,857
売上原価	25,206	26,379
売上総利益	8,571	8,477
販売費及び一般管理費	5,615	5,880
営業利益	2,955	2,596
営業外収益	426	404
営業外費用	184	147
経常利益	3,196	2,853
特別利益	145	204
特別損失	17	87
税金等調整前当期純利益	3,324	2,971
法人税等	1,038	875
当期純利益	2,285	2,095
非支配株主に帰属する当期純利益	256	158
親会社株主に帰属する当期純利益	2,029	1,937

POINT
3

税金等調整前当期純利益2,971百万円、減価償却費1,036百万円、売上債権の減少402百万円などの結果、営業活動によるキャッシュ・フローは2,633百万円の収入となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)


科目	前連結会計年度 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)	当連結会計年度 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,128	2,633
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,527	476
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,093	△ 665
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 309	△ 18
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	198	2,426
現金及び現金同等物の 期首残高	5,857	6,055
現金及び現金同等物の 期末残高	6,055	9,012

POINT

3

現金及び現金同等物の期末残高は9,012百万円となりました。

一年の主な活動

※  は当社グループのCSR活動の一部をご紹介します。

<p>1月</p> <p>「第9回 クルマの軽量化技術展 (東京ビッグサイト)」 に出展</p>	<p>NXドライバ SD600Tシリーズ 「NX500T3」を新発売</p>	<p>2月</p> <p>地盤調査機 「ジオカルテ」関連で、 タイ王国において 共同研究調印式</p>	<p>女性活躍を 推進する企業として 「えるぼし」三つ星認定 を取得 </p>	<p>質量流量計 「クリーンフロー」 国内防爆認証を取得 販売開始</p>
<p>樹脂材締結の 可能性を広げる 「カラーレスタイト」を 新発売</p> <p>詳細はP.7へ</p>	<p>3月</p> <p>執行役員制度の 導入</p>	<p></p> <p>ダイバーシティ推進室 の設置</p>	<p></p> <p>京都府立工業高等学校 へねじ締めロボットを 寄贈</p>	<p></p> <p>『絆経営で目指す 新しい地方創生』 発行</p>
<p>4月</p> <p>マレーシアのMPM社 創立25周年</p>	<p>グループ共通の ブランドロゴマークを 刷新</p>	<p>NXドライバ SD600Tシリーズ EUの安全基準に適合、 販売開始</p> <p>詳細はP.7へ</p>	<p>5月</p> <p>「第3回接着・接合EXPO (インテックス大阪)」に 出展</p>	<p>6月</p> <p>松浦屋株式会社 連結子会社化</p>
<p>中国のNPS社が 「広州支店」を開設 中国南部エリアでの 拡販を強化</p>	<p>超小物部品専用 検査選別装置 「ミストル(MISTOL®) Fタイプ」新発売</p> <p>詳細はP.7へ</p>	<p>7月</p> <p></p> <p>綾部市図書館に 児童書・教育書を寄贈</p>	<p></p> <p>「夏休み2019 宿題・自由研究 大作戦」 でねじづくり体験教室</p> <p>詳細はP.7へ</p>	<p></p> <p>綾部市市民センター ネーミングライツを獲得 「あやべ・日東精工 アリーナ」</p>
<p>当社従業員 岩崎 拓夫が パラグライダーの 国際大会での優秀な成績で 「文部科学大臣表彰」を受賞</p>	<p>8月</p> <p>「第6回プレス板金 フォーミング展 MF-Tokyo 2019」で ねじづくり体験教室</p>	<p>9月</p> <p></p> <p>特例子会社 「日東精工SWIMMY 株式会社」設立</p> <p>詳細はP.7へ</p>	<p>「京都グリーンケミカル・ ネットワーク」 ビジネスマッチングに 出展</p>	<p>10月</p> <p>台湾のSHI-HO社 創立50周年</p>
<p>メディカル新規事業 準備室設置</p> <p>詳細はP.7へ</p>	<p>「第22回 関西機械要素技術展 (インテックス大阪)」 に出展</p>	<p>「モノづくりフェア2019 (福岡マリンメッセ)」 に出展</p>	<p>12月</p> <p>「第3回 接着・接合EXPO (幕張メッセ)」に出展</p>	<p></p> <p>受験生応援 ゆるみ止めねじ プレゼントキャンペーン 受付開始</p>

樹脂材締結の可能性を拓げる 「カラーレスタイト」を新発売



樹脂材へのねじ締結は熱で変形しにくいカラーと呼ばれる鉄製の筒と、金属製のインサートナットを埋め込むことが一般的な組付け方法ですが、これは部品点数増や工程数増で、コストアップにつながり、軽量化に反するものです。当社では、鉄カラーとインサートナットを廃止することができる樹脂用セルフタッピングねじ「カラーレスタイト」の開発に成功、2月1日に新発売しました。樹脂材締結の可能性を拓げる基幹製品として、お客さまのモノづくりを強力にサポートしてまいります。

超小物部品専用検査選別装置 「ミストル(MISTOL®)Fタイプ」を新発売

当社制御システム事業部の小物部品検査選別装置「ミストル(MISTOL®)」は2006年の発売以来、小物部品の検査精度や高速性が求められる自動車業界を中心に高い評価を得ていますが、この度、極小ねじなどの超小物部品専用検査選別装置「ミストル(MISTOL®)Fタイプ」を開発し、新たなラインナップとして販売を開始しました。「ミストル(MISTOL®)Fタイプ」は、極小検査工程の救世主として、お客さまのモノづくりをサポートしてまいります。



ねじ締めドライバを EUの安全規格に適合させました

当社産機事業部の「NXドライブSD600Tシリーズ」は、高度なトルク精度はもちろんのこと、製品の多品種対応や締付け結果のデータ出力が充実しており、自動車業界を中心に高い評価をいただいています。IoTやマスカスタマイゼーションに対応する製品として需要は確実に高まっていますが、国内だけでなく海外からのご要望にもお応えすべく、今般、NX020T3、NX050T3、NX100T3の3機種をEU(欧州連合)地域内共通の安全基準「CEマーキング」に適合させました。



EU地域内全域での流通が可能となることに加え、国内のお客さまにもより安全と品質を担保した製品をご使用いただけます。

グループ総合力を結集し 医療分野に本格参入

2019年10月からメディカル新規事業準備室を設置しています。

「グループ総合力を結集し医療分野に本格参入」を加速していくためのもので、①国内向け医療機器の製造と販売体制の確立 ②開発製品の製造および販売における各種認可の取得 ③販路拡大に向けたマーケティング活動および販売促進活動を目的としています。

特例子会社 「日東精工SWIMMY株式会社」設立

日東精工SWIMMY株式会社の設立は、日東精工グループにおけるCSR(企業の社会的責任)の一環として、障がいを持たれた方々の個性や多様性を尊重し、雇用機会の創出や拡大を視野に入れたものです。社名「SWIMMY」は、レオ・レオ二作の絵本「スイミー」に由来し、個々の特性や能力が全体の集まりとなって、より大きな力を創造するという考えを「創発型チーム」という想いに込めています。

「夏休み2019宿題・自由研究 大作戦!」でねじづくり体験教室

当社ではCSR(企業の社会的責任)活動の一環として、これから未来を創造する子どもたちの育成に力を注いでいます。とくに本年は若手社員を中心に夏休み向けの企画を充実させました。

「夏休み2019宿題・自由研究 大作戦!」(7月24日~25日)は、一般社団法人日本能率協会主催で2019年度は「京都・みやこめっせ」で開催されたものです。

「ねじの作り方」「ねじの種類」「ねじの機能」が楽しく学べるコーナーを設け、体験学習で完成させたねじやねじを楽しく学べる「宿題用冊子」を参加者全員にプレゼントしました。



～日東精工株式会社のシンボル本社本館～

1938（昭和13）年2月11日、「日は東より」という自然界の姿をそのままにした社名として、日東精工株式会社（資本金7万円）が誕生しました。基本方針は、「誠実を基とし内外に信用を獲得し地方の発展に寄与する」とうたい、国内外への事業拡大、地域の発展、雇用の創出を当社の使命として事業を進めてきました。

創業当時21名の従業員で、島津製作所様や日新電機様の依頼によるレントゲンタイマーや流量計、天府、オートインジケーター、ロールチャート、歯車の製作を行っていました。

多品種生産であったことや作業者の技術力不足による作業能力が大きな課題となり、熟練工の教育により、技術力向上に努めていました。また、創業してわずか1年でしたが、インジケーターなどの強い増産要請もあり、当時の設備や工場の規模では生産できないことになりました。そのため、6尺旋盤、ベンチレース、ミクロン、プレスなどの機械設備の導入と、工場の拡大を同時に進め、1939（昭和14）年2月には、第2工場が完成しました。その1年後の1940（昭和15）年12月期の売上高では、民需よりも軍需の増大の影響により、創業時の売上高の3倍にあたる6万円に近い金額となりました。このころから軍需工場としての拡充がはじまることになります。1944（昭和19）年2月には、郡是工業（郡是製絲株式会社は1943（昭和18）年4月から1946（昭和21）年5月まで郡是工業株式会社と改称されていました。）の梁瀬工場から移築した本社本館が完成しました。この本館は移築以前も含めると100年近くを経ていると言われていたのですが、白を基調とした建物に修復・補強を行い、今も当社の歴史あるシンボリックな建屋としてお客さまをお出迎えしています。

当社は創業当時から目標を大きく持ち事業拡大を進めてきました。今後も創業当時の基本方針を継承し、既存事業の拡大、新たな事業への進出へと努力してまいります。



1938（昭和13）年12月 工場と従業員



1944（昭和19）年2月 移築後の本館



2007（平成19）年3月 現在の本館

(2019年12月31日現在)

会社概要

社名	日東精工株式会社 (NITTO SEIKO CO., LTD.)
本社所在地	京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
設立年月日	1938年2月25日
資本金	3,522,580,100円
従業員数	545名
主な事業内容	各種工業用ファスナーの製造販売 各種自動組立機の製造販売 各種流量計および検査装置の製造販売

国内の事業所

本社	京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20	電話 (0773) 42-3111
東京支店	神奈川県横浜市港北区綱島東6-2-21	電話 (045) 545-3313
大阪支店	大阪府東大阪市本庄西1-6-4	電話 (06) 6745-8357
名古屋支店	愛知県名古屋市中東区上社5-405	電話 (052) 709-5061
北関東営業所	群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3	電話 (0276) 63-8158
広島営業所	広島県広島市東区光町1-12-20 2階	電話 (082) 207-0622
九州出張所	福岡県福岡市博多区半道橋1-6-46	電話 (092) 411-1724

取締役、監査役および執行役員

(2020年3月30日現在)

(代表取締役) 取締役社長	材木正己	取締役(社外)	塩見満
常務取締役 常務執行役員	澤井健	取締役(社外)	平尾一之
常務取締役 常務執行役員	荒賀誠	取締役(社外)	勝見九重
取締役 執行役員	上嶋伸宏	監査役(常勤)	大塚芳邦
取締役 執行役員	山添重博	監査役(社外)	溝口克彦
取締役 執行役員	松本真一	監査役(社外)	多賀野博一
		執行役員	浅井基樹
		執行役員	石原雅和
		執行役員	小雲康弘

(2019年12月31日現在)

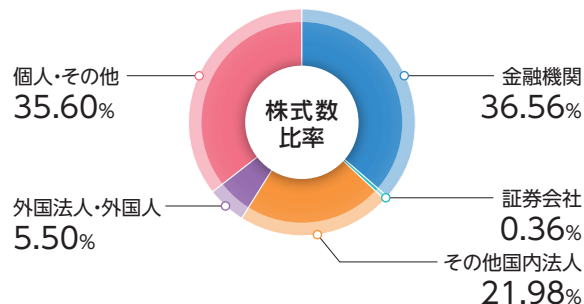
株式の状況

発行可能株式総数	98,800,000株
発行済株式の総数	39,985,017株
株主数	4,046名
大株主	

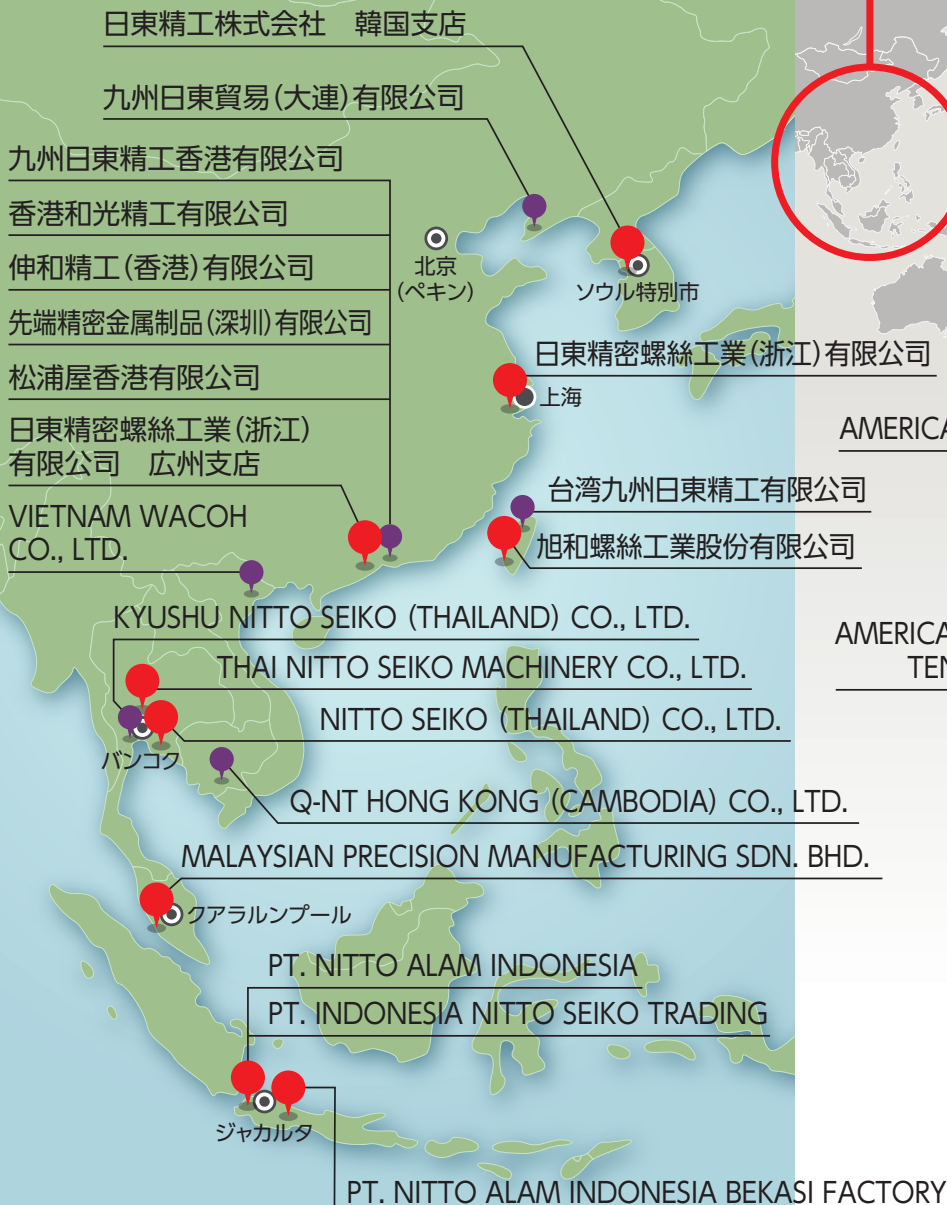
株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,252(千株)	8.74(%)
日東精工協会	2,961	7.96
グンゼ株式会社	1,984	5.33
株式会社京都銀行	1,875	5.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,873	5.03
神鋼商事株式会社	1,499	4.03
三井住友信託銀行株式会社	1,485	3.99
株式会社三菱UFJ銀行	1,347	3.62
日東精工従業員持株会	733	1.97
日本生命保険相互会社	619	1.66

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。
2. 自己株式2,801千株を除いて計算してあります。

所有者別株主分布状況



GLOBAL NETWORK



- 海外拠点
- グループ会社

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL (https://www.nittoseiko.co.jp/)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式に関する「マイナンバー制度」について

マイナンバーを記載する主な支払調書

- ※ 配当金等に関する支払調書
- ※ 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式等の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様のマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届けいただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- ◆ 証券口座にて株式を管理されている株主様 … お取引の証券会社までお問い合わせください。
- ◆ 証券会社とのお取引がない株主様 ……………… 下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行 証券代行部 0120-782-031

ホームページのご案内

当社では、ホームページにて企業情報を随時開示しております。製品情報、新着情報等のほか、IR・株主情報のサイトでは、決算短信等を掲載しております。

<https://www.nittoseiko.co.jp/>



トップページ



IRページ